

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第15号（5. 10. 5） 小・中学校で子供が安心して、おいしい給食が食べられるよう改善を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 小・中学校給食は、地元食材や有機農産物を使用しやすい、安全・安心な自校調理にできるよう、今後のスケジュールに入れること。 2. 自校方式が困難な小・中学校では、親子方式での給食提供を進めること。そのためにも小学校給食室の労働環境を調査し、改善すること。 3. 小・中学校給食はどの子供も安心して食べられるよう無償にすること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市東灘区 神戸の中学校給食を実現する東灘の会 前川 伸子</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>教育こども委員会</p>

2023年10月5日

神戸市会議長 坊 やすなが 様

兵庫県神戸市東灘区

神戸の中学校給食を実現する東灘の会

前川伸子

## 小・中学校でも子どもが安心して、 美味しい給食が食べられるよう改善を求めます

陳情趣旨

る陳情

教育委員会より、温かい中学校給食の実施について、体制とスケジュールが公表されました。

ほとんどの学校が、給食センター方式と民間調理施設方式です。何千食分も一気に調理する施設で、これでは、安心な地元野菜・無農薬野菜の使用や、作り手の顔が見える食育などとは、程遠い給食になってしまいます。

東灘区は開始が第4期で遅く、六甲アイランド小学校・向洋中学校での親子方式モデル実施もされて可能なことが分かったのに、なぜ民間施設でしょうか？民間施設での大量調理、配送では食育にならず、アレルギー食が必要な子どもにも対応出来ません。小学校の調理室の余力で可能な学校からでも、まず親子方式で実施できるのではないのでしょうか。

私たちは、温かいおなかが膨れるだけの給食を望んでるのではありません。健やかな成長のため、学校給食をとても大事に思っています。予算がないと言われますが、子どもへの投資は将来の社会のために必要です。

三宮がきれいに開発されている景色や、神戸空港の連絡橋の拡張などの記事を見ていると、神戸市はいったいどこにお金を使っているのか、と市民はしっかり見えています。

また、給食調理員さんの労働環境は、エアコン設置のないパントリーがあるなど（本庄小学校や本山第一小学校など）、夏は熱中症の危険性が高く、大変過酷な現場です。親子方式実施も見据えて、設備、人員の環境を早急に整えて下さい。

については、貴議会において以下のことをぜひご検討ください。

### <陳情事項>

1. 小・中学校給食は、地元食材や有機農産物を使用しやすい、安全・安心な自校調理に出来るよう、今後のスケジュールに入れてください。

2. 自校方式が困難な<sup>小・中</sup>学校では、親子方式での給食提供を進めてください。

その為にも小学校給食室の労働環境を調査し、改善してください。

3. <sup>小・中</sup>学校給食はどの子どもも安心して食べられるよう、無償にしてください。